Claude Code講座の練習として作った提案です。
講座の課題で作ったサンプルで、クラウドワークスアカデミーの公式資料ではありません。運営の方に採用されたものでもありません。

Claude Code講座【初級】ページの改善提案（サンプル）

受講生の変化と言葉で、「初めての人」に届くページへ

想定した読み手：講座ページの運営者

2026年11月18日作成　作成：まこ（Claude Code講座【初級】受講生）

この資料でお伝えしたいこと

「受講生のインタビュー記事」と「AIも副業も初めての人に向けた言葉」の2つを提案します。どちらも、質問づくり・取材・文章づくりを私が担当できます。

今のサイトで分かったこと

作るものは伝わっている。「自分にもできるか」「仕事につながるか」はまだ伝わっていない

私が申し込む前に知りたかったことを、今のページと照らし合わせました。

申し込む前に知りたかったこと	今のページ	伝わり方
AIを仕事で使ったことがなくても、ついていけるか	「非エンジニア」「プログラミング不要」はある。AIや副業が初めての人に向けた言葉はない	△
講座で何を作るか	Week別に書いてあり、わかりやすい	○
受講後、どんな仕事につながったか	受講生の声3件は、noteへのリンクとタイトルだけ。ページの上では中身が読めない	×
成果物の見本	見本や画像はない	×
講座で手元に残るもの（プロンプトなど）	書いていない。私は無料説明会で初めて知った	×

運営の方の考えとの違い（講座課題で共有されたヒアリング資料より）

- ゴールは「稼げるようになる」こと → ページは「使えるようになる」で止まっている
- 未経験の人にも受けてほしい → プログラミングの未経験には答えているが、AIや副業の未経験には答えていない

確認したページ：https://academy.crowdworks.jp/course/ai/claude-code（2026年11月17日時点）

似たサービスとの違い

「3週間・39,600円で、作って公開まで終わる」講座は、比べた中でここだけでした

Claude Codeを学べる6つのサービスと比べました。多くは「短い入門」か「長期のスクール」に分かれていて、この講座はその間にあります。

※下の金額は**受講料だけ**です。Claude Codeを使うには、どの講座でも、これとは別に**Claudeの有料プラン（Proプランは月22ドル。税込・月払い）**が必要です。

	短い入門	この講座	長期のスクール
期間	60分〜3時間	**3週間**	約3か月
受講料	無料〜33,000円	**39,600円（税込）**	約5万〜約25万円
内容	全体はつかめるが、作って仕上げるところまでは行かない	資料・note・サイトを作り、公開まで。note記事の添削、メンターへの質問、Slack	会社の業務を効率よくする内容が中心
例	Schoo、SBクリエイティブ、Anthropic Claude Academy（無料）	—	RUNTEQ、DMM 生成AI CAMP

この講座にしかない強み

- 作るものが、仕事を取るための道具（自己紹介資料、提案資料、note記事、ポートフォリオサイト）
- note記事の添削（公式ページで確認できた中ではここだけ）
- 副業・フリーランス向け。ほかは会社員の業務効率化向けがほとんど
- 仕事探しの場であるクラウドワークスが運営

ほかにあって、この講座のページにないもの

- 受講生のレビューを、中身まで読める（Inflearn：23件・平均★4.8）
- 受講後の変化をひと言で示す見出しや数字（RUNTEQ：「毎週3時間の作業を、30分に」）
- 作れるものの例（Inflearn）
- 無料のお試し（Inflearn、Schoo）

強みは十分にあります。ただ、「受講した人がどう変わったか」がページで見えないため、その強みが申し込む前の人に届きにくいと考えました。

2026年11月17〜18日に各社の公式ページで確認。Claudeのプランの料金：https://claude.com/ja/pricing

選んだ改善案

受講生の変化と言葉で、「自分にもできる」を伝える2つの案

10個の改善案を出し、その中から「効果が大きい見込み」で「私が最後まで担当できる」2つを選びました。

1 受講前→受講後がわかる、受講生のインタビュー記事を載せる

効果の見込み：大　私が担当：できる

どんな人が、何を作り、受講後にどう動いたかを、ページの上で読めるようにします。

2 「AIも副業も初めて」の人に向けた言葉を、見出しとFAQに入れる

効果の見込み：大　私が担当：できる

「チャットAIを少し使った程度」「副業の実績がまだない」人の不安に、ページの言葉で答えます。

この2つを選んだ理由

理由	内容
申し込む前の不安に直接答える	私が一番知りたかった「初心者でもついていけるか」「副業に活かせるか」「受講後どんな仕事につながったか」に答えます。1枚目で△や×だった所を埋めます
運営の方のゴールに近づく	ページは「使えるようになる」で止まっています。受講生の変化を見せることで、「稼げるようになる」に近づけます
運営の方の判断が少ない	値下げや広告費のような判断はいりません。取材相手のご紹介と掲載の許可があれば始められます
2つがつながる	インタビューで集めた受講生の言葉を、提案2の見出しやFAQに使えます

2つの案のつながり

提案1
受講生に取材する
→
提案1
記事にして
ページに載せる
→
提案2
取材で出た言葉を
見出し・FAQに使う

効果の「大・中・小」は見込みで、数字のお約束ではありません。

選んだ改善案　提案1

受講前→受講後がわかる、受講生のインタビュー記事を載せる

課題

受講生の声3件は、noteへのリンクとタイトルだけです。「どんな人が、何を作り、受講後にどう動いたか」が、ページの上で読めません。似たサービスでは、受講生のレビューを中身まで読めるところがあります。

変えること

受講生に取材し、次の流れの短い記事にしてページに載せます。

記事の流れ：受講前の不安　→　講座で作ったもの　→　受講後の動き（応募・受注など）　→　これから受ける人へのひと言

質問の例

- 受講前、AIをどのくらい使っていましたか。何が不安でしたか
- 3週間で作ったもので、一番役に立っているものは何ですか
- 受講後、仕事の応募や発信で変わったことはありますか
- 受けるか迷っている人に、何と伝えたいですか

期待できる変化

申し込む前の人が、自分に近い人の変化を具体的に想像できるようになります。**「使えるようになる」の先の、「仕事につながる」まで**を見せられます。

私ができること

1 質問づくり	2 取材	3 記事にする	4 確認・修正	5 短い版
質問を作る	話を聞く	記事を書く	見てもらう	短く整える

- **受講生の立場がわかる：**私もこの講座の受講生で、受講前の不安を持っていました。聞かれる側の気持ちに沿って質問を作れます
- **話を聞いて整理できる：**今回、運営の方へのヒアリングの内容を整理し、この提案にまとめました。理学療法士として15年以上、患者さんやご家族の話を聞き、相手に合わせて説明してきました
- **読む人に寄り添う文章：**クラウドワークスアカデミーの講座課題で「クラアカ賞」をいただき、「読者の悩みに寄り添い、『これなら私も』と思わせる」とコメントをいただきました

運営の方に必要なこと：取材相手のご紹介、掲載の許可、ページへの掲載作業

選んだ改善案　提案2

「AIも副業も初めて」の人に向けた言葉を、見出しとFAQに入れる

課題

「非エンジニア」「プログラミング不要」は書いてあります。ただ、AIを仕事で使ったことがない人、在宅ワークの受注がまだない人の不安に答える言葉がありません。比べたサービスのほとんどは会社員向けで、副業向けをうたう講座はほぼありませんでした。

変えること

見出しの近くとFAQに、初めての人に向けた文を足します。下は文の例です（運営の方のご確認のうえで直します）。

見出しの近くに足す一文
チャットAIに少し話しかけたことがある程度でも、副業の実績がまだなくても大丈夫。3週間で、仕事に応募するときに使える資料とサイトを、自分の手で作ります。

FAQ　Q. AIを仕事で使ったことがありません。ついていけますか？
A. Week1は、導入・設定・音声入力から始めます。わからないことは、メンターに何度でも質問できます。

FAQ　Q. 在宅ワークの実績がまだありません。副業に活かせますか？
A. 講座では、自己紹介資料、提案資料、ポートフォリオサイトなど、仕事に応募するときに使えるものを作ります。

期待できる変化

受講前の私と同じ不安を持つ人が、**「これは自分向けの講座だ」と気づき**、ページを読み進めやすくなります。副業向けという、ほかにない強みもはっきりします。

私ができること

- **同じ不安を持っていた当事者：**受講前の私は、AIは私生活でチャットAIに話しかける程度で、在宅ワークの受注もありませんでした。その立場から言葉を選べます
- **文章づくり：**見出しの文とFAQの文案を作ります。クラアカの講座課題で「クラアカ賞」をいただいた、読者に寄り添う書き方を活かします
- **提案1とつなげる：**取材で出た受講生の言葉を使い、実際の声にもとづいた文にします

運営の方に必要なこと：文案のご確認、ページへの反映

選ばなかった案

ほかに考えた8つの案

提案1・2を先に進め、次の8つは、そのあと必要に応じて相談する想定です。

案	改善案	効果の見込み	私が担当できるか
3	受講生の成果物の見本（自己紹介資料・提案資料・サイト）を載せる	大	一部できる（私の成果物を見本として出せる）
4	無料説明会で話している「作れるもの」と「持ち帰れるプロンプト」をページに書く	中	できる（プロンプトをどこまで見せるかは運営の方のご判断）
5	「初級に分けているので、合わなければここでやめられる」という考えを載せる	中	できる
6	講師の教え方がわかる短い動画を載せる	中	一部できる（縦型動画の編集）。運営の方のご判断が必要
7	「短い入門」「この講座」「長期のスクール」の違いがわかる比較表を載せる	中	一部できる（表づくり）。他社名を出すかは運営の方のご判断
8	受講期間「未定」を直し、1週間の学習時間の目安を書く	小	一部できる（私の実際の学習時間を材料として出せる）
9	講座の一部を無料で試せるようにする	大	できない。運営の方のご判断が必要
10	満足度や受講後の動きをアンケートで集めて載せる	中	一部できる（質問づくり・まとめ）。運営の方のご判断が必要

この先の進め方（想定）

- 提案1・提案2について、運営の方の意見をもらう
- 進めてよければ、取材に協力してくれる受講生を紹介してもらう
- 案3の成果物の見本は、私の成果物を出す形で、提案1と一緒に進められる

効果の「大・中・小」は見込みで、数字のお約束ではありません。